



子どもの権利条例 地域円卓会議

子どもの権利条例って沖縄でなぜ必要なのか？

権利条例を学び、論点を確認する

実施報告書

日 時： 2021 年 12 月 22 日（水） 18:30-21:10
場 所： なは市民協働プラザ会議室 1（沖縄県那覇市銘苅 2-3-1）＋オンライン（zoom）
配信
主 催： 公益財団法人みらいファンド沖縄
共 催： 宗教法人真如苑
協 力： NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成
NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

【報告】子どもの権利条例地域円卓会議



- 日 時：2021年12月22日（水）18:30-21:10
- 場 所：なは市民協働プラザ会議室 1（沖縄県那覇市 銘苅 2-3-1）＋オンライン（zoom）配信
- 着席者数：9名（論点提供者、司会、記録者含む）
- 来場者数：25名（行政、企業、NPO・市民団体等）
- 主 催：公益財団法人みらいファンド沖縄
- 共 催：宗教法人真如苑
- 協 力：NPO 法人まちなか研究所わくわく

論点提供

横江 崇 氏

（弁護士・美ら島法律事務所）

子どもの権利条例って沖縄でなぜ必要なのか？

権利条例を学び、論点を確認する

那覇市では子どもの権利条例の制定を目指し、府内でもプロジェクトが進行中ようです。今回の円卓会議は子どもたちの権利条例ってそもそも何なのか？どうして必要なのか？どんなプロセスで進めるのか等、子どもの権利条例制定に向けて市民参画の論点を確認する会議です。

センターメンバー



横江 崇
弁護士・美ら島
法律事務所



前田 比呂也
美術家、
元中学校校長



山崎 新
那覇市国場
児童館 館長



中村 圭介
那覇市
議会委員



鈴木 友一郎
ももやま子ども
食堂



宮国 幸子
NPO 法人おきな
わCAPセンター
副代表



喜多 明人
子どもの権利
条約ネットワ
ーク 代表

➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

- 1) 子どもとのパートナーシップ。その力がないのではなく機会がない。どのように設計するか
- 2) 子どもの参画をしっかりと設計する。それがあることによってできたものや、でできた社会の成功イメージを持つ。リアリティを共有しているとどうかが重要
- 3) 子どもの権利を保障するには、施策とリンクしてないといけない。それ自体が施策運用者である行政のバックアップにもなる

■参加者によるサブセッション

子どもの権利条例って沖縄でなぜ必要なのか？

権利条例を学び、論点を確認する

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

- ①
- ・ 「沖縄」だからという意味はない普遍的
 - ・ 地域で子どもを守る
 - ・ 子ども食堂とのつながり
 - ・ 「遊び」を大事にする、社会とのつながり (プレーパーク)
 - ・ 大人が独占していたりする
 - ・ 「権利」について
 - ・ 子どもたちはわかっていない
 - ・ 大人もわかっていない
 - ・ 「人権」と抽象的だが→身近
 - ・ 「わがまま」と反応する大人が理解できない
- ②
- ・ 条例の実効性が大事
 - ・ 箱→ステージの変化への対応力
 - ・ 第3者のチェック (オンブズパーソン)
 - ・ 子どもを大切にできる社会は大人も大切にできる社会
- ③
- ・ 沖縄民間教育研究所、沖縄子どもを守る会
 - ・ 「教育者」軍事教育、集団教育
- ⇕
- 権利条例
- 子どもが主役、わかってもらう (先生方に)
体罰禁止広まった
- ④
- ・ 子ども、貧困、シビックテック、エンジニア
 - ・ 子どもの居場所の困りごとを解決
- ⑤
- ・ 学校「自分らしさを見つける場所」←インターネット
 - ・ 人権教育
 - ・ 何がギャクタイ 何がヤングケアラー
- ⑥
- ・ まちづくりの基本
 - ・ 条例 ここに向かっていこう
 - ・ 反主流
 - ・ 学校と地域 (先生たちのまきこむ方法)
- ⑦
- ・ 家庭でもおきかえていることだ
← 子どもの人権侵害の話
 - ・ 理念をどうやって確実にしていくのか？
→ 市民が声を出していかなくては？
 - ・ 子どもの条例対象は何歳まで？
条文に出てこない
18才こえても一人前になれない
もう少し上の年齢も含めては？
大人の人権
21才 (自主支援) はまだ早い
 - ・ 子どもの権利保障が明確か？
 - ・ 具体的な対応策が必要
- ⑧
- ・ 那覇市否決。那覇市でこどもの街をデザインしようという設計をした。かなり細かく提案した。(役所はやらないけど最優的には入れておこなうとなった・なかと)
 - ・ こどもに聴くという視点 (0歳児から)。代弁を大人が。
 - ・ オンブズマンがまだ議論に出ていない。31

の自治体でオンブズ制度ができています。

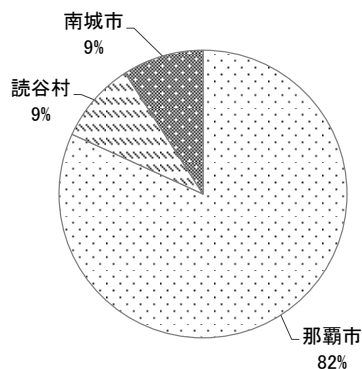
- ・ うるま市、北谷で中学生集団リンチ。命が大事という問題より、子どもの貧困が問題だよねという。沖縄の場合、子どもの声を代弁する大人がいないのが問題。
- ・ 若年出産の声も聴けていない。困難を抱えるほど声を出せない。ヤングケアラー。→ 子供の声を聴くという条例をつくらないといけないと思っている。
- ・ 参画する側が変わる、大人が変わる、大人が子どもを指導するのではなく、支援という立場になること。意見を言わせるだけでは参加しているとは言えない。子どもの参加の権利。

子どもの権利条例地域円卓会議 参加者アンケート集計

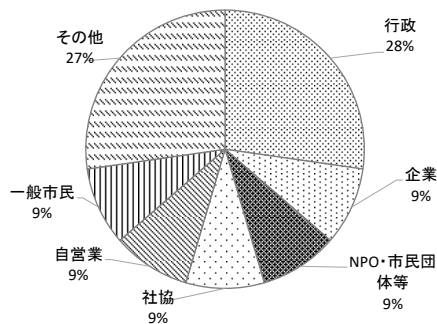
◆概要

- ・日時：2021年12月22日（水）18:30-21:10
- ・場所：なは市民協働プラザ会議室1（沖縄県那覇市銘苅 2-3-1）＋オンライン（zoom）
配信
- ・着席者：9名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・参加者：25名（アンケート回収11名、回収率44%）

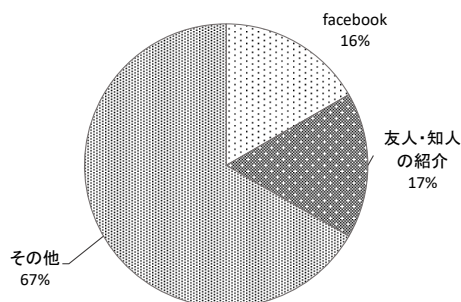
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：4.7（5点中）

5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
8名	3名	0名	0名	0名

5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・ センターメンバーのお話が実体験を伴うとても参考になる内容でした。進行もスムーズで◎
- ・ 子どもの現場にかかわっている、真剣に知識・経験のある素晴らしい方の意見が聞けて権利条約の大切を考える事ができとても勉強になりました。権利の知識大切ですね
- ・ 子どもの権利条例について「子どもを守る会」でも数年話し合いをして来ました。共有認識を持てた事更に条例の制定の実現に向けてつながっていききたい
- ・ 子どもの権利条例がなぜ必要で、どう進めていくのか、だいたい頭の中が整理されました。どうすれば全会一致で制定できるのか、知恵がひつようだなーと思いました。そしてCAPの活動からやはりオンブズパーソンが必要だと実感しています
- ・ 子供の権利がここまであるとは思わなかった
- ・ 子どもの権利について考えている大人がきちんと存在しているのと分かって安心したから、いつか権利というものが条例なしでも守られる沖縄になるように私も私のフィールドで頑張ろう
- ・ 子どもの権利条約について深く考えることができた。喜多先生の話、先進事例や失敗事例を含め、勉強になりました。ナハ市に実効性のあるこどもの権利条約をつくと貧困

- ・ 短い時間での参加になってしまったのですが横江様の様々な子どもの権利に関するアイデアと問題提供から始まり、行政の動きをよく知られている中村様や児童館館長・PTA活動などを通して見えにくい学校などの中で子どもたちが置かれている状況と問題意識、喜多さんの学校側と生徒の意識のずれなど（いかに学校が地域に頼れる仕組みを作るかなど）、多様な視点で議題に対して見つめられて大変勉強になりました。後日参加できなかった分を視聴できればと思います

- ・ 子どもの権利条例を読谷村でつくりたい、実行したいと思っているため（言い続けている）
- ・ キタ先生の話や議論者の話の内容が濃く刺激になった。「子供の安心できる場所」の必要性を強く感じた
- ・ 条例は題材として、とても幅広くなるので、運営、深堀の難しさを実感しました。

- ・学校や家庭にも限界があることを認めたい
えで、足りないものをサポートしていく社会
にしていくこと。そのことを明確にして必要
な制度、施策に繋げるものが子どもの権利条
例であること（理念だけでは役に立たない）
地域でサポート・解決が基本というお話し。
- ・すべてうなずきながら聞いていました。共感
1000000000000000%
- ・子ども参加で条例をつくるという1番重要
なところをどうするかという話がでて重視
できるなとうれしくなりました
- ・子どもの事だけで無くみんなの将来のため、
幸せのためにとの意識
- ・子どもの権利を保障することが私たちのた
めでもあるということ、なんか複雑な気持
ちでそういう下心みたいなのは嫌だなーと
思いつつ、でも、色んな大人を納得させるた

- ・ 個人的にはキタさんの話をもっと聞きたかったです
- ・ 権利条約の周知が必要。現職の教員が居て現場の声が聞きたい
- ・ 「居場所は自分でつくる」という権利がとても素敵。これからの社会を構築する若い人々が、勉強以外でこれから身に付けて欲しい事がギュッとつまっていて嬉しい
- ・ 家庭も学校も限界がきているというフレーズ。ただ、地域コミュニティーでどこまで受け皿となれるのか？少し疑問もある。CAPさんの宮国さんより養護施設で育った子は「浮き草」の子が多い。守り所を作ってあげることが大切
- ・ 前田さんの「子どもの権利を認めないとこれからの社会が持たない」というフレーズが残った。グループワークの中で「まだ教育現場は軍隊教育・集団教育である。それに対抗する武器として条例が欲しい」との女性の発言が印象的でした

(写真) 会場の様子



子どもの権利条例 地域円卓会議

2021.12.22. (水) 18:30-21:10

テーマ 子どもの権利条例って沖縄でなぜ必要なのか？
権利条例を学ぶ、論点を確認する

- 主催 公益財団法人 みらいノボ沖縄
- 共催 宗教法人 真如苑
- 協力 NPO法人 まちなか研究所 ゆくゆく

なは市民協働プラザ + ONLINE

円卓会議

子どもの権利条例 地域円卓会議 2021.12.22(水) 18:30-21:10 なは市民協働プラザ + オンライン ①

今日のあけ

論点提供

井口士

横江さん

令和2年 沖縄県子どもの権利を尊重し
4/1. 虐待が広がる社会づくり条例

子どもの権利条例

生きる. 守られる. 育つ. 参加する

知らぬからたら生きてい
いかしていいために知り.
考えていいてある。

子どもの権利条例 地域円卓会議 2021.12.22(水) 18:30-21:10 なは市民協働プラザ + オンライン ②

国場児童館
山崎さん

健全育成ってなに?

① 大人の思う健全育成に
居場所をうばわれる

② 親権によって子どもの安全・安全
将来がうばわれる

③ 子ども施策が、子ども抜きに
決められる

条例が必要は理由

使えない
プラン
宣言がけつたのに

① 理由がないと、
外に子どもたちが
いらぬ

夜出かける=悪い子?

・親と連絡がとれないと
遺失金申請できない

・子どもの声が届かない
・大人のフリーグになつ
しょう → 運動会やからいなか

・子どもたちの声を届ける
機会がない

・議会に届けられ
これはいいわ! 今ど
いかに大事

・数十年前に作られた学校のトイレ
・公園のぼろつち

「子ども」に関する権利がない

規定したものとするとすめやす

期待する
こと

① 子どもの最善の利益
尊重
施策検証

② 健全の良直し
・不健全な家庭児童の支援手厚く
・地域が居場所になる
ためにあり方良直し

③ 児童館・放課後児童クラブ
子ども食堂 価値の良直し
単独の役割

判断基準が子ども中心にひいて連携
できる

子どもの権利条例 地域円卓会議 2021.12.22(水) 18:30- 21:10 ほぼ同時刻が オンライン ③

中村さん

那覇市
議会議員

もともと市民活動に
興味あり、子どもの居場所に関心。

予算がきれたら続かななる
事例をみた

↓
食困、課題にフォーカス

↓
そそその子どもの権利に

那覇の状況

平成10 子どものまち宣言

→ 実行法も検証もなし

↓
実行性のあるものにしたい

子どもの権利条例必要性は
那覇市にいかんじている? 子どものために
やるか? はまだ。
→ 取り組むと市民会議 すすめたもののコトが
体制ができればすすみやすくなる。現状。

子どもの権利条例 地域円卓会議 2021.12.22(水) 18:30- 21:10 ほぼ同時刻が オンライン ④

おきかわ CAP センター

宮国さん 人権教育の
70% 74

自分を守るために
友だちを守るために
暴力(20%)
何が出来るか WS

・安心
・自信
・自由

↓

"私は大切な存在"
思ってもらふこと 護身術も
伝えている

どんな条例が
あったらいいか?

- ・子どもの対応の仕方
- ・子どもたちに暴力に
ついて学ぶ機会
こういうものが
もりにまわれば

**沖縄市子ども施策
研究会**

鈴木さん
2014年
権利条例

知らないまま 周知不足
否決されている

↓ 議論不足

平成20年
30回 宣言部会
24回
子規 4回
合同 4回

↓

子どものまち
推進条例 2014年
否決

やりかたもよそに
やらないとできない。

沖縄市否決 似たような
したものがある。← 同じような
ことにならないように

子どもの権利条例 地域円卓会議 2021.12.22(水) 18:30- 21:10 ほぼ毎週がサ 7

ササキ、シン

子どもの権利条例って沖縄でなぜ必要なの?

どんなことを話しましたか?

**0才児の
意見表明権**

子どもの声をきく
→ かわるの
大人だね

あつたは
直す機会に
大きな声

3名で争論になって

そんなの
必要ない

必要性を伝えるおな
ワークなせ もりにめたら

やっぱり
子どもの声を
反映させること

プレイパーク
児童館もと木アに
機関、子どもの権利を
かかちり もとに
見直し

オンズ
パーソ
大事

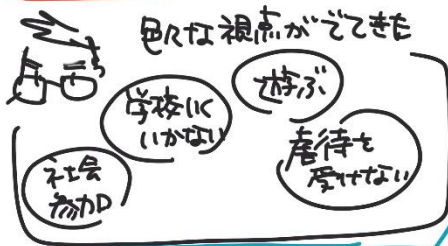
権利より
機関
オンズの制度も
暴力の問題
安心して相談・救済

学校にまかす
評価 ← するべきができていない、
先生が自身の
価値を見せたい

居場所を
自分でつくる
どんなこと? について
も考えた

子どもの権利条例 地域円卓会議 2021.12.22(水) 18:30- 21:10 ほぼ毎週がサ 8

セッション 2



それぞれにとって必要なものを出す
↓
話し合う
↓
施策にする
↓
予算がつくようにかく
どの粒をかくか? どう書きこんでいくのか?

• 権利・人権 抽象的に
なりがら
↓
それをどなたが具体的に
イメージできるか。

学校にいかない
服装
↓
子どもたちと本当に
大のことも話す
時間がとれる
↓
その他、(いかにいかに)に
なるもの 明記

• 子どもの参加
• 権利の意識を
権利主体
対策にパター
本意がせる

• 「子どもがわかまになる」
そんなことないだよね
伝えていく。
• 子どもならそれは制限ある
目的と手段
↓
本当に必要な?
どうに必要か? を明記する

• 子どもたちはまじたら
答えられる
• 4-4を作りて 重層的に
• わがままはいくけど、
自分勝手にはしないのは?
(子どもたちはわかまになる)
• 年令別にききかたかえる
• ゴールも伝えて上ど
まて
• プロセスの共有

子どもの権利条例 地域円卓会議 2021.12.22(水) 18:30- 21:10 ほぼ全員参加 オンライン

9

セッション 2

• 市民参加→設計の仕方を考慮
成熟させて
いらない場合、
活用されかねない

子どもは話さない
↓
なには不適合
機会がないから話さない
(運営参加)
市民参加
子どもたち

暴力への対応が
必要の声 ← 自分たちの役割
必要だと感じた

• 全会一致 ← 子どもたちのことを
本質的に考えている
↓
全県、
長野県以外
↑
児童 権利、権利という言葉
つかうなら通せん

• ついたあとの
見直し

• 誰がいたかを
きにする人もいる。
↓
市民から

• 分類は今後
していく必要あり。

これを
するとして
その意義を
する

制服
廃止
↓
服を選択
する意思決定
↓
新しい社会を
つくるために
対策にしてい
くのが必要
↓
ここより先に
なる。

子どもの権利条例 地域円卓会議 2021.12.22(水) 18:30- 21:10 ほぼ全員参加 オンライン

10